

さあ、どうする?! 選択の本

今日はどの靴をはこうか？ショートケーキとモンブラン、どっちを食べようか？私たちは、毎日何かを選んでいきます。日本やアメリカでも、大切なことを決める選挙が行われました。

そこで今回は、さまざまな「選択」の本を集めました。究極の選択を迫られる絵本や、子どもたちが広場の使い方を投票で決めようとする本、秘密作戦に参加するのかわからないのか、決断を迫られるおはなしなど。みんななら、さあ、どうする？！

★は1・2ねんせいくらい、★★は3・4年生くらい、★★★は5・6年生くらいを目やすに、おすすめしているというしるしです。

紹介した本は、新座市の中央図書館、福祉の里図書館、分館でかりられます。みなさんどうぞ読んでみてください。

2024. 12 NO. 75
 にいざしりつちゅうおうとしょかん
 〒352-0011 新座市野火止1-1-2
 でんわ048(481)1115

図書館 HP



にいざ電子図書館



ねえ、どれがいい? ★

ジョン・バーニングガム / さく まつかわまゆみ / やく 評論社 (えほんバ)

もしもだよ、いえの まわりが かわるとしたら、こうずいと、おおゆきと、ジャングルと、ねえ、どれが いい? おしろで しょくじ、ききゅうで あさごはん、かわでおやつ、どれが いい? ヘビに まかれるのと、サカナに のまれるのと、ワニに たべられるのと、サイの したじきだったら?

いろいろな きゅうきょくの せんたく、さあ、あなたも えらんで みてください。



こどものとうひょう おとなのせんきょ ★

かこさとし / 著 童心社、復刊ドットコム (310カ)

まちの あちこちで、おとなの せんきょが はじまりました。いっぽう、子どもたちは、じどうかんの まえの ひろばでの あそびかたについて、そうだんが まとまりません。そこで、おとなの せんきょのように、とうひょうで きめることにします。とうひょうの けっか、やきゅうの チームが、まず ひろばをつかう ことになりました。でも、ほかの ことを かいだ ともたちと けんかになって しまいます。



やまなしもぎ★★

平野直／再話 太田大八／画 福音館書店（えほん才）

むかし あるところに、おかあさんと三にんのきょうだいがあるんでいました。おかあさんに やまなしがたべたい とたのまれ、一ばんめのたろうが やまなしをもぎに行くことにしました。

たろうは、とちゅうの三ぼんのまっかみち（わかれみち）で、ゆくなといわれたみちをえらんで すすんでしまいます。いつまでたっても たろうがかえってこないで、こんどは二ばんめのじろうがでかけました。しかし じろうも やはり かえってきません。

そこで、三ばんめのさぶろうが でかけることになりました。

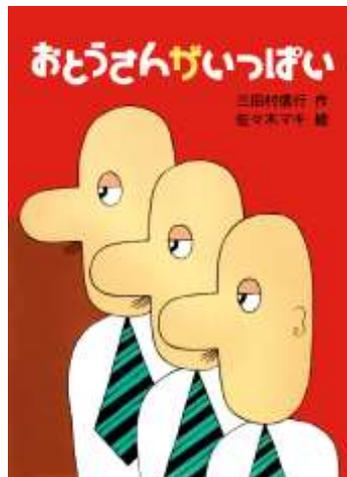


おかのうえのギリシ ★★★

マンロー・リーフ／文 ロバート・ローソン／絵 こみやゆう／訳 岩波書店（えほん口）

スコットランドに すむ ちびっこギリシは、おかあさんの しんせきが いる たにまのむらか、おとうさんの しんせきが いる やまのむら、どちらで くらすか きめなくては なりません。あるとき、一ねんかんを たにまのむらで くらすことになり、まいにち こえをはりあげて うしを よんで すごしました。つぎの一ねんかんは やまのむらで くらすことになり、ながく いきを とめて シカを まちぶせして すごしました。

そして とうとう、どちらのむらに すむか きめる ひが やってきます。

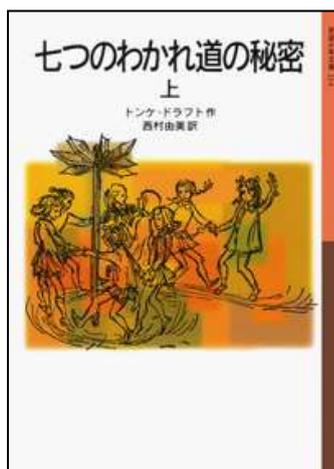


おとうさんがいっぱい ★★★

三田村信行／作 佐々木マキ／絵 理論社（913ミ）

トシオの家におとうさんから、今日は帰りがおそくなる、と電話がかかってきました。でも、おとうさんは、もう帰ってきていて、へやで新聞をよんでいたのです！さらにもう一人べつのおとうさんまで現れて、なんとおとうさんは三人になってしまい、それぞれ自分が本物だと主張しはじめたのです。この奇妙な現象は、全国各地で起こり、こまった政府は各家庭にどのおとうさんを父親とするかひとりだけ選ぶように迫ります。判定者となったトシオは、いちばんよいと思われる人を父親として選ぶことになったのです。

そのほか、ちょっと不思議で恐いお話が4つ入っています。



七つのわかれ道の秘密 上・下 ★★★

トンケ・ドラフト／作 西村由美／訳（949ド）

村の小学校教師フランス先生の所に、ある日、出した覚えのない手紙への返信が届きます。差出人は不明で、明日、先生を迎えに来ると言います。しかし迎えの馬車に乗った先生は、御者と口論になり、途中で置き去りにされてしまいます。そこは、六つしか道がないのに「七つのわかれ道」という名がついた場所でした。謎の手紙の差出人やわかれ道について調べるうち、先生はボウソウゾクと名乗る少年や魔術師と出会い、伯爵家の宝をめぐる秘密作戦に巻き込まれていきます。そして、「七番目の道」を進むかどうか、選択するよう迫られます。